

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。



《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

これまで、沖縄協同病院の夜間外来をご利用の患者様へ  
2014年9月1日より

**「夜間診療は、とよみ生協病院にて行っております」**

慢性疾患定期外来を分けることで、患者さまの療養相談・全身管理の充実と沖縄協同病院の救急機能強化をめざします。

転院をお願いしました患者様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

なお、薬はこれまでどおり、処方せん発行となりますので、院外調剤薬局での受取りとなります。

—窓口負担について— 病院の規模の違いにより、転院後は若干増えますことをご了承ください。  
(自己負担の方で3割800円程度)

ご不明な点は主治医または外来スタッフへお問い合わせください。

**「辺野古9・20県民大行動に参加して」**



台風の影響が心配されましたが強烈な日差しの中、8月23日に引き続き集会に参加してきました。

まるでライブ会場のトイレのような混み具合の伊芸サービスエリアや近くのコンビニのトイレに寄りつつ、たくさんの人の波にどれだけの人が集まるのかと期待し会場へ向かいました。

いままでも辺野古へ足を運んだことはありましたが、今回のように5500人を超える人が集まったのは初めてだと思います。遠いヤンバルの辺野古にこれだけの人が集まるのは容易ではなく、県民の『辺野古新基地建設反対・普天間基地撤去』の思いが伝わってきました。

壇上では稲嶺名護市長を始め、知事選に立候補を表明した翁長那覇市長や鳩山元首相も参加し、今までの辺野古の運動とは違う新しい流れを感じました。

家族を連れてピクニック気分に参加しましたが、長男が到着早々にふてくされていたため浜辺で一緒に水遊びをして気を紛らわしました。

子ども達が水遊びをしているバックに米軍基地が移る景色に違和感を感じ、さらにこの地に機能強化された新基地が作られるかと想像すると悲しい気持ちになります。

私たちの子どもの世代に悲しい思いをさせないためにも、何か行動していこうと思いました。

リハビリ室長 賀数裕規

**新入職医師挨拶**

沖縄協同病院に今年の8月に入職した長谷川千穂と申します。富山大学医学部を卒業し、医師になって4年目です。



沖縄に来て、患者さんの「うちなーぐち」がわからず、申し訳ないと感じ、少し勉強を開始しました。

私は現在、総合内科の一員として働かせて頂いていますが、とても温かい職場の方たちに出会えて本当に運がよいと思っています。高齢者の方たちの担当をさせて頂く事が多いのですが、様々な喜び、苦難を乗り越え、今もまた病とともにある方たちの人生が少しでも豊かで、苦痛のないように出来るよう自分の能力をつけていきたいと考えています。

また、患者さんの社会的背景の中に健康を害する原因があると感じています。その原因は本人の「自己責任」ではない事は社会医学の研究からも明らかになりつつあります。その原因を共に考え社会全体に目を向けていかなければ、人を治す事は出来ないであろうと考えています。これからよろしくお願ひします。

内科医 長谷川千穂

**子供に心の病気を教える絵本**

**心療内科**



実は、精神疾患は「がん」や「脳卒中」のように、とても身近な病気です。例えば、最近の調査ではうつ病の患者さんが日本で約380万人(WHO, 02-03年)、アルコール依存症の患者さんが約109万人(厚生労働省樋口研究班, 08年)いると推定されています。

大人に精神疾患の実像を正確に伝えるのなかなか難しいものですが、子どもに伝えるのもっとも大変です。でも、子ども達こそ、正確な情報を求めているのです。なぜなら、心の病気に罹ったメンバーを持つ家族は「病気のことを誰かに話したり相談してはいけない」という呪縛をかけられ、秘密を抱えこんで、地域や時には親戚からも孤立してしまいがちだからです。子ども達は「どうして? 何が起きているの?」と聞けずに、「ママが変になったのは私が悪いことしたからかも」と自分を責め続けたりします。彼ら、彼女らにかけられた「呪縛」を解くには、正確で、かつ「子ども目線に立つ」共感的な教材が欠かせません。

細尾ちあき(看護師)+北野陽子(精神保健指定医)による啓発ユニット・プルスアルハが刊行した心理教育絵本『ボクのことわすれちゃったの?』お父さんはアルコール依存症』は、まさにこの「呪縛」を解くための「家族のこころの病気を子どもに伝える絵本」シリーズ第4弾です。

さて、この絵本のストーリー(父親の飲酒問題で傷ついた家族が、父が倒れて運ばれた病院で専門病院での治療を勧められ、専門治療に繋がって父親も家族も回復に向かって歩み始める。その様子を小学生の主人公公ハル君の言葉で語るもの)を、各地のお国言葉で朗読し、絵本をスクリーンに紙芝居のように映すパフォーマンスができないだろうか? という画期的なコラボ企画が全国各地で進められようとしています。

来る11月9日午後1時~3時、那覇市国際通りと「ほしぞら公民館」でこの朗読パフォーマンスを行う予定です。ぜひ、組合員のみならずも朗読を聴いて下さい。

<http://pulsitehapp2.bindsite.jp/haru.html>

心療内科 小松知己

# 移動・就任の挨拶

9月1日付で沖縄協同病院総務課長に就任しました宮国迅です。  
入職して17年になります。これまで、中部協同病院の医事課で外来事務・入院事務を経験した後、総務で経理担当、そして8年前に総務課長に就任しました。

とても温かい雰囲気の中で、やりがいのある仕事に恵まれ貴重な経験をさせて頂きました。支えて頂いた中部協同病院の皆さん本当に有難うございました。

沖縄協同病院では、病院の規模が大きくなり初めての異動という事で戸惑いや不安もありますが、職場内の「和」を大切に、何でも話し合える関係を築いていきたいと思っています。

職員同士のコミュニケーションを深め、信頼され、頼りにされる部署をめざして頑張っていきたいと思っております。

皆様のご指導やご協力よろしくお願い致します。

総務課長 宮国迅



2014年度

## 医療生協強化月間始まる!

今年も2014年度医療生協強化月間が9月25日より11月30日までの日程で始まりました。

1,800人の組合員増、55,000口の出資金を目標にかかげています。

昨年も皆様のご協力をいただき取り組んでまいりましたが、残念ながら目標達成には至りませんでした。今年も目標達成出来るように職員一同皆様と一緒に頑張っていきたいと思っておりますので「加入」「増資」にご協力をお願いいたします。

加入・増資のご希望の方はお近くの職員までお声掛けをお願いします。

組織委員会事務局長・大城真也

## 病院の活動状況 <8月度>

- ・外来一日平均患者数:552人(前年同月比-20人)
- ・入院一日平均患者数:271人(前年同月比 -1人)
- ・組合員利用率:56.4%(前年比 +0.6%)



とよみ生協病院  
事務課長 金城稲子

「山のサラカチに袖を引かれることがあっても香りのある花は折らずにおこうか」と辺野喜節は詠っている。知事選挙に向けて、いろいろな地域にアメがまかれると思うが、「政府のアメに袖を引かれることがあっても子・孫の未来は折らずにおこうか」

サラカチはミカン科のツル性植物だが、茎は木より堅い。樹皮や葉を煎じて飲むと胃や喘息に良いとされる。分布は奄美、沖縄の石灰岩地帯。果実は5mm程でミカンの香りはするが噛むと舌にピリピリくる。茎や枝には下方に湾曲する鋭い棘がある。

私の地域では土地改良前までは、モウ(草木の生えた丘?)がいったばいあり、サラカチが茂っている藪に入るとよくひっかき傷をついたものである。山歩きをする時には、サラカチとサンチナー(サンキライ)を探しながら歩くが、浦添の公園以来会えないままである。

サラカチの和名は「サルカケミカン」と言い、名の由来は猿を引っかける程の棘を持っているからだという。宮古島の離島では「ヤマジュンシヤ」(山の巡査)と呼ばれているようだ。サラカチの棘に引っかかった人の様子が、警官に首根っこをつかまれている泥棒を連想させる。ぴったりの名前である。

## 外来体制変更のお知らせ

皮膚科 (10月~)

	月	火	水	木	金
午前	新井真佐子			山城栄津子 仲松あや乃	

《診療開始時間・受付終了時間》 ※受付順に診察を行います。  
午前 9:00 ~ 10:00

## 季節の挿絵



過ぎゆく夏の思い出

画・内科医 上原和博

## おきなわの自然

### サラカチ

懐かしい人に会った時のように、懐かしい植物にあった時にも胸にこみ上げてくるものがあり、「オー元気がだったか!」と言ってしまう時がある。サラカチ(サルカケミカン)はそのひとつで、10年程前、浦添市の公園で感動的な再会をして以降、見たことがない。